

# 第7回 日・ベトナム 防災協働対話(2019.10)【結果概要】

国土交通省とベトナム農業農村開発省は、2019年10月、ハノイで「第7回防災協働対話」を開催し、土砂災害対策や河川・ダム管理等に関する連携について議論しました。

- 1. 背景・目的**
  - ✓ 2013年9月に両省大臣間で署名された覚書に基づき、毎年ワークショップ等を開き、防災技術の展開を図っている(ダム運用・洪水予警報システム構築の無償案件形成に至った実績有)。
  - ✓ 第7回となる本年のワークショップは、土砂災害対策や河川・ダム管理等を題材に開催。
  - ✓ あわせて、日本企業(日本防災プラットフォーム会員等)による関連技術の展示・紹介も実施。
- 2. 日程・場所** 2019/10/11(金) 於:ハノイ ※前日には、今年8月ベトナムで発生した鉄砲水の被災現場を視察
- 3. 参加者** 【日本】国土交通省 水局(河川計画課国際室 村瀬室長・鈴木補佐、砂防計画課 今森補佐)、田中JICA専門家、在ベトナム大使館、JICAベトナム事務所、(一社)国際建設技術協会 等  
【ベトナム】農業農村開発省(防災総局 ガー課長 他)

ワークショップの様子



日本企業による技術展示(会場ロビー)



8月の鉄砲水の現場(タインホア省サナ村)

写真で視察者の付近に民家が立ち並んでいたが、鉄砲水で一掃。なお写真の手前左に河道がある



実施  
結果

- ✓ 土砂災害の予測・早期警報や、砂防ダムの技術基準、砂防法、ダム管理、防災教育等に関心が寄せられるとともに、適応可能な技術についての連携・ワークショップを継続していくべきとの考えを共有した。